



水防活動に必要な技術の習得を行います ～水防工法研修会の開催～

〔要旨〕

- 手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、6月の出水期に備え、水防技術の研鑽と継承を目的として「水防工法研修会」を開催します。この研修会は、平成2年度から開催しており、平成24年度で22回目を数えます。開催にあたり石川県の協力を得まして、県内より30機関、約180名が参加する予定です。

記

日 時：平成24年5月29日（火） 10：00～15：00

場 所：川北町朝日地先 水辺の楽校西部拠点（手取川右岸 手取川大橋下流）

主 催：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

【石川県、小松市、白山市、能美市、加賀市、野々市市、川北町、北陸電力(株)、電源開発(株)、西日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、金沢地方气象台、国土交通省 金沢河川国道事務所】

参加機関：石川県内から30機関、各市町村消防団、約180名

・当日は水防専門家を招き、技術指導を受けながら実施します。

内 容：・縄結束、鉄線結束、土のう作りの基本的実技

・月の輪工、立てかご工、木流し工、シート張り工、積み土のう工、改良積み土のう工の工法実技など

・月の輪工の検証

※ 現地取材は、午後1時頃から2時30分頃に実戦的な水防作業を実施していますので、写りがよろしいかと思えます。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 氏名 大角 一浩

TEL：076-264-9910（直通）

FAX：076-233-9612

実施目的

日本では毎年のように水害が発生しています。昨年の3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの死者・行方不明者の被害がありました。また7月に発生した新潟・福島豪雨では記録的な出水となり、多くの浸水被害が発生して避難勧告も多発される事態となりました。

一方、石川県内では、平成20年に金沢市内にてゲリラ豪雨による浅野川のはん濫をはじめ、平成18年7月豪雨では、梯川においてははん濫危険水位(3.6m)を大きく上回る4.91mを観測し、小松市内12町内8,558名に対して避難準備情報が出されるなど、水害に関する話題が絶えることがありません。

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、出水に対する備えとして、迅速かつ適確な水防技術の習得・研鑽及び水防知識・心構えの再認識を目的に「水防工法研修会」を実施するものです。



基本的実技 縄結びの実践



木流し工の作業状況

参 考

・ 水防作業とは

水害を防ぎ、また被害を少なくするため、水防団等により実施される水防活動であり、古くから洪水により河川が越水や漏水などが見られた場合に、被災の原因・川の特徴、地盤の状況にそれぞれ適した工法が考えられ受け継がれています。良く用いられる工法としては、川が越水するとき使用される「積み土のう工」、堤防に漏水が見られたときに使用される「月の輪工」、堤防が削られたときに使用される「シート張り工」「木流し工」「立てかご工」などがあります。